

## 令和3年度三田市高校生議会 質問書

【質問者】 9番 有馬高等学校 1年 西本 哉太 (にしもと かなた)

【担当課】 市長公室 若者のまちづくり課

【答弁予定者】 市長

【質問事項】 若者の活躍できる町づくりについて

【質問内容】

9番 高校生議員の有馬高等学校1年の西本 哉太です。私からは若者の活躍できる町づくりについてお伺いします。

私は中学校、高等学校の授業で何度も耳にした「少子高齢化」を市で行える範囲で改善・対策していかなければならないと感じました。まず、少子高齢化が進むことによる大きな問題点は「お金・税金」だと思います。福祉・医療を市民に提供するのにもお金がかかります。納める人が減れば納められるお金も減り、福祉・医療を提供するにあたって市民に負担していただく金額が増加して、当然一人当たりが納めなければならない税金も増加してしまうと思います。以上の問題点を含めましてお聞きしたいと思います。

三田市が出している「三田市の現況」という資料にある人口のグラフを見てもわかる通り平成27年と令和2年のものを比べると令和2年の方が20～30代にかけて人口が減っています。しかしこれからの社会を担う若者には三田市に住み地域と連携した暮らしをして欲しいと考えています。そのためにも、若者や学生にも市に興味を持ってもらい住みたいと思ってもらえる必要があると思います。

まず一つ目に、三田市で遊ぶ場所についてアンケートを行いました。イオンや公園などが特に多かった回答です。そのため、公園で安心・安全に遊ぶことのできるよう整備を欠かさないことや防犯機能を高めることが若者に三田市で住んでもらう上で必要になると考えています。また、若者が遊べる場所を今以上に増やしていけば興味・関心を持ってもらえるのではないのでしょうか。

二つ目に例えば現在三田市では「こうみんプログラム」としてたくさんの企画が行われています。学びや体験を通して色々な人と交流を行うことができ、新しいことを知る機会となるので、子どもが市で楽しいことができると思えることができ、よいと思いました。これから大人になっていく学生を対象にすることによって将来三田市で生活しようと思ってもらえるチャンスにすることができ、とても効果的だと思います。他にも移住、定住に関する取

り組みも進めていると聞きました。だからこそこのような素敵な企画を多くの人に知っていただきたいと思いました。

しかし、「こうみんプログラム」を知っているか45人にアンケートをとった結果、41人が知らないと答えました。そのためにSNS（三田市議会議員の方もTwitterをされています）を活用し、若者や学生に情報を届けていくべきではないかと思います。今はホームページだけでなく、YouTubeやTikTok、Instagramでも情報を伝えられると考えています。

以上のことにつきまして、市の考えをお聞かせください。

---

## 【答 弁 内 容】

私からは、西本議員の「若者の活躍できる町づくりについて」お答えします。

日本の共通課題である少子高齢化に加え、三田市は、ニュータウン開発に伴い<sup>いつとき</sup>一時に多くの転入者を迎えたことから、その人口構造に大きな偏りが生じました。今後も急速に進む高齢化は本市の喫緊かつ大きな課題です。また、議員ご指摘のとおり、本市では、20歳代の転出が大幅に超過しており、議員はじめ本市で生まれ育った若者が地元三田に愛着を持ち、住み続けてもらいたいと強く感じています。

議員が実施された2点のアンケート結果も参考にしたいと思います。

まず、1点目の遊ぶ場所については、三田市には有馬富士公園をはじめ甲子園球場94個分の公園があり、一人当たりの公園面積は兵庫県下トップクラスを誇ります。安全安心に遊ぶことができる公園は、若者が集い憩うほか、将来的にも楽しい思い出として深く心に残ります。また、子育て世代にとっても子どもの成長を育む大きな地域の財産です。

続く2点目の「こうみん未来塾」についても、学びを通じて子どもだけでなく高齢者や、地域で活動する人々など多世代間の交流を促進するプログラムとして注力しており、学校教育では得ることができない体験は、子どもたちにとって貴重な財産です。

若者が本市に魅力を感じ、暮らし続けるためには、こうした遊び、学ぶ機会に加え、住み、働く場も欠かせません。現在「さんだ移住・定住促進アクションプログラム」の取り組みを進めており、徐々に効果は出ていると実感しています。

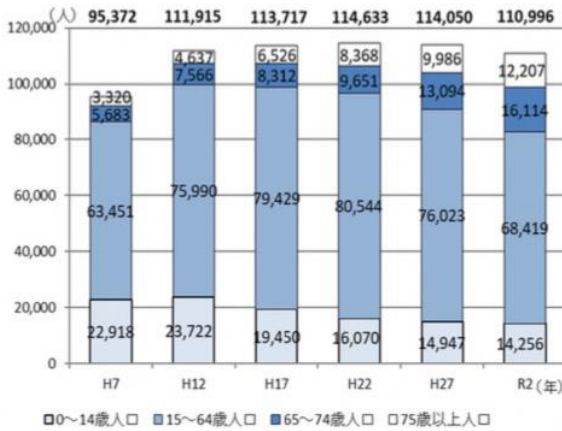
一方で、議員が指摘されるように、効果的で魅力ある情報発信の手法には、更なる充実強化が必要です。一例として、市は昨年10月から、緊急情報のほか、市政情報やイベント情報など、暮らしに役立つ情報をLINEでお届けする取り組みを開始しました。議員がアンケートを実施された「こうみん未来塾」も、LINEを通じて開催を告知しています。他にも三田市で

実施されるイベントや施策など積極的に発信していきますので、友達登録がお済みでない場合は、是非この機会に登録をお願いします。また、ご家族やご友人など周囲の方々に広くご案内いただきたいと思います。情報発信手段の進歩は著しく、市としても議員をはじめとする若い世代の発信力に大いに期待するところであり、今後とも是非積極的な提案をお待ちしています。

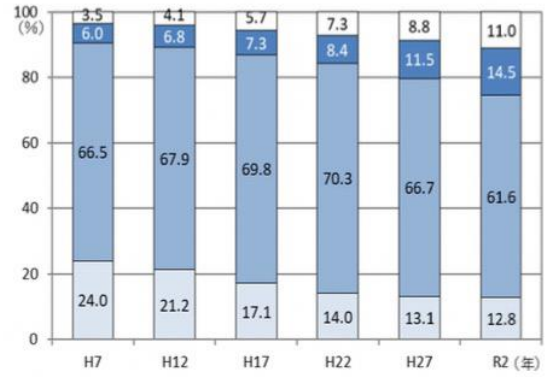
最後に、若者の活躍は、若者を取り巻く様々な世代にも好循環を生み出し、まち全体に元気を与え、活気を生みます。議員はじめ若い世代の皆様には、様々な形で積極的にまちづくりに関わっていただき、三田の未来を担う中心として広く活躍していただくことを心から期待しています。

# 平成27年度と令和2年度比較

◆年齢区分別人口推移◆



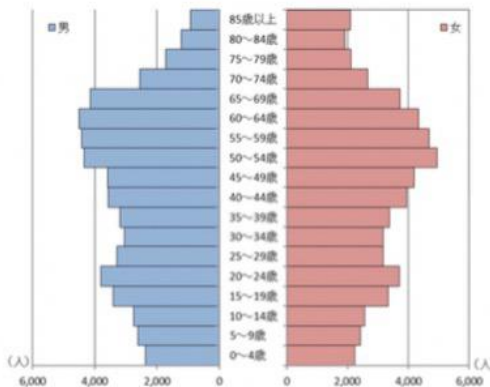
◆年齢区分別人口比率の推移◆



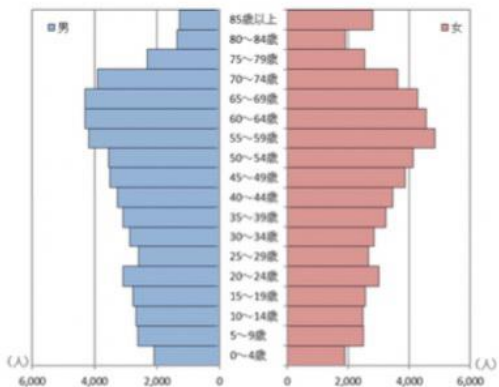
資料：三田市統計書

◆人口ピラミッド◆

(平成 27 年 10 月 1 日)



(令和 2 年 10 月 1 日)

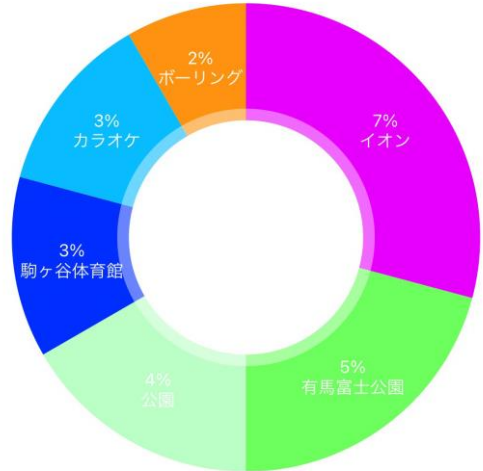


資料：住民基本台帳

# 高校生男女24人へのアンケート結果

三田市内の遊び場

- ・ 公園…有馬富士公園
- ・ イオン (ウッディタウン)  
(フラワータウン)



■ イオン ■ 有馬富士公園 ■ 公園 ■ 駒ヶ谷体育館 ■ カラオケ ■ ボーリング

**こうみん未来塾特別編**

**新宮晋「元気のぼり」プロジェクト**

～元気のメッセージを風に乗せて～

令和3年 11月23日(火)

9:00～ 開会  
14:00～ 元気のぼりを掲揚します！  
15:00 終了予定

有馬富士公園 休養ゾーン 大芝生広場

大きな絵を(全長350m)

青空の下で  
元気いっぱい夢を描こう！

元気のぼりは、2011年東北大震災が起きた時、少しでも被災地の人たちに元気を届けたいという強い思いで立ち上げたプロジェクトです。以来各地で開催し続けており、私の思いに共感した方たちがドイツやアラブの国々でも開催しにのりを持ってきて、今や大きな絵となって世界に広がっています。あなたの描き上げた元気のぼりは、風をほら、はたため、あなたのメッセージを多くの人々に伝えることとして、ぜひご参加ください。

☆☆ 新宮 晋さんからのメッセージ ☆☆

**講師** さんだ夢大使 新宮 晋(しんへい すずの)さん

風や水などの自然エネルギーで動く彫刻を各国で作り続けている世界的に有名な造形作家。三田市には、市役所前広場の「童の対話」新三田駅前前の「大地の輪」豊野アサド公園の「水の木」など、多くの作品があり、有馬富士公園 休養ゾーンの「新宮 晋 風のミュージアム」では12点の彫刻が風に舞っています。

※雨天時、緊急事態宣言発出、気象警報発表の場合は中止。

※このプロジェクトは、市の広報誌・SNS等に動画や写真を掲載することを了承の上、ご参加ください。

※会場に座席の設けはありません。

(主催) 地球アトリエ実行委員会、三田市、三田市教育委員会、(後援) 兵庫県、(協力) 有馬富士公園管理事務所 (協賛) 株式会社サクラクレパス

【問い合わせ】 三田市役所 健やか育成課  
〒669-1505 三田市三輪2-1-1  
TEL: 559-5046 FAX: 563-3611  
メール: sukoyaka@city.sanda.lg.jp

オンライン全市民版こうみん未来塾×浄水施設課

日時 令和3年 12月11日(土) 10時～11時

**全集中で、水を攻略せよ！**

水色改善三題：水の印絵で解明せよ！

謎の問題：一人あたり一日にどのくらいの水を使う？

28のベストから最も多く水を消費するものを選ぼう！

①60本 ②160本 ③300本

謎の問題：世界の中で、水道の水をそのまま飲む国は、いくつある？

世界は196か国あるよ(日本が承認している国)。

① 6か国 ② 12か国 ③ 24か国

謎の問題：安全な水を家庭に届けるために検査することは？

① 水に色がついていないか調べる。  
② 洗濯物に色がついていないか調べる。  
③ 石けんの泡立ちが悪くないか調べる。  
④ 歯磨きを入れて、問題がないか調べる。  
⑤ 水がおいしいか、まじいかな、ためしのみをする。

※答えは、オンライン講座の中で！または、講座終了後はホームページに公開されます。

**24時間、三田の水を守る♥オンライン浄水場見学**

◆浄水場 4か所  
◆配水池 21か所  
◆給水配管 18か所  
◆加圧所 10か所

◆オンライン講座受講に必要な環境  
インターネットに接続できるパソコンまたはタブレット・スマートフォン  
※Web 会議システム「Cisco Webex Meeting」アプリのインストールが必要となります。(要参照)  
※通信費は参加者負担となります。

**定員 30組**  
※申込多数の場合は抽選

**対象** 市内の小中学生とその家族

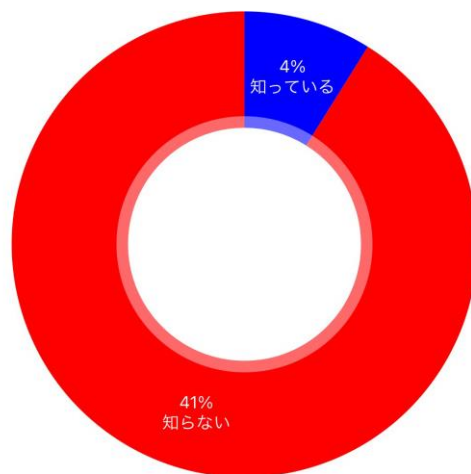
【申込方法】 申込フォームに入り(右の二次元コードから入れます)。  
氏名・学校名・学年など必要事項を記入の上、健やか育成課まで  
締切：12月1日(水) ※ホームページから申込フォームに入れます。

【問い合わせ】 三田市役所 健やか育成課 〒669-1505 三田市三輪2-1-1  
TEL: 559-5046 FAX: 563-3611 メール: sukoyaka@city.sanda.lg.jp

# 高校生男女45人への アンケート結果

知らないと回答…約10倍

「こうみんプログラム」を知っているか



■ 知っている ■ 知らない